

平成 16 年度事業団事務局事業実績

1 総括

平成 16 年度は、社会福祉法人 萩市社会福祉事業団として運営を開始した初めての年でしたが、萩・福祉複合施設かがやきとしては、平成 12 年 4 月にスタートしてから節目の 5 年目となる、ひと区切りの年でした。

それまで、萩市社会福祉協議会が運営していた、萩・福祉複合施設かがやき、楽々園、見島高齢者福祉センター、萩市福祉支援センターの各施設における事業を継承して、合併後の萩市民の福祉の担い手として、又公設施設の受け皿として事業団が設立されました。

本年度は、平成 18 年度における介護報酬のマイナス改定を予想して、整理しておかなければならない課題の解決を図ることに努めました。

まず、第一として職員駐車場の整備をしました。これまで、萩市民病院の駐車場を利用させてもらっていましたが、市民病院の利用者から苦情があがったりしていたため、早急な対応が求められていました。土地の購入はできませんでしたが、25 年間の賃貸借契約を結び職員駐車場を整備しました。第二として新調理法（システムクックチル、クックフリーズ、クックサーブ及び真空調理）を取り入れました。かがやきの厨房をセントラルキッチン化するためにオール電化にしました。これにより、1 回の調理で約 800 食の調理が可能になり、指月園、楽々園、なごみのサテライト施設に調理済みの食事を搬送することができるようになりました。その結果、事業団全体の調理委託料と光熱水費等のコスト削減を図ることができました。第三として更なる IT 化を進めました。新しく受託する施設を NTT のネットワーク IP 網等で結び、情報、給与システム及び会計システムを共有しました。これにより、どんなに離れた場所でもシステムの共有することができ、情報の集約と新たな施設におけるシステムの導入費用が削減できるようになりました。

処遇面として、特別養護老人ホーム、老人保健施設においてユニットケアの向上、身体拘束の廃止に努めました。又、老人保健施設では本来機能である在宅復帰の機能強化を図るため、老健版クリティカルパスを作成し、在宅復帰システムの構築を図りました。デイケアでは、パワーリハビリテーションを導入し、リハビリの強化を図りました。また、利用者の増加に伴い、12 月より定員を 40 名から 60 名に変更しました。

財政面につきましては、まず、収入面ですが、老人保健施設の在宅復帰機能の強化を進めた為、老人保健施設の稼働率が著しく低下したこと、リハビリ職員の退職によりリハビリ加算が算定できなくなったこと、給食サービスの見直しがあり食数が激減したことから収入の減少があり、経常収入合計は、約 12 億 1872 万円（前年比 922 万円の減）となりました。

支出面におきまして、利用者の増加に伴う職員の補充等から経常活動支出計が約 11 億 703 万円（前年比約 4,888 万円増）になりました。また、新規事業に伴う車両等の購入、職員駐車場等の整備を行ったことから約 5,564 万円の固定資産取得支出が発生しました。

法人の純資産は、今年度、社協から受け継いだ純資産額 5 億 987 万円を受け入れた結果、昨年と比較して、約 5 億 9,546 万円の増額となり、純資産総額は、約 5 億 9,846 万円となりました。

17年度は、18年度の介護保険改正に備えるための機能強化、新規受託事業の健全経営、災害時のライフラインの確保、人事・給与制度等の見直しなど、各課題の解決に向け、職員一丸となり積極的に取り組み、なお一層の努力をしております。

2 沿革

平成16年2月社会福祉法人 萩市社会福祉事業団設立（2月20日設立認可） 基本金:基本財産特定預金3,000,000円(萩市出資)

本部住所：住所：〒758 - 0061 山口県萩市大字椿字門田 3460 番地 2

平成16年4月事業開始

平成12年4月から萩市社会福祉協議会に運営委託していた萩・福祉複合施設かがやき、楽々園、見島高齢者生活福祉センター、基幹型在宅介護支援センターを引継ぎ萩市社会福祉事業団として事業開始する。

萩・福祉複合施設かがやき

住所：〒758 - 0061 山口県萩市大字椿字門田 3460 番地 2

1階 在宅福祉複合部門 萩市デイサービスかがやき 定員：一般50名・痴呆10名 デイケアセンターかがやき 定員：40名

萩市ヘルパーステーションかがやき 萩市訪問看護ステーションかがやき 萩市指定居宅介護支援事業所かがやき

在宅介護支援センターかがやき

2階 萩市老人保健施設かがやき 定員：80名

3階 萩市特別養護老人ホームかがやき 定員：入所50名 ショートステイ20名

楽々園

住所：〒758 - 0063 山口県萩市大字山田 4293 番地 1

1階

萩市デイサービスセンター楽々園 定員：一般30名 萩市在宅介護支援センター楽々園 萩市指定居宅介護支援事業所楽々園

2階 萩市こどもデイサービスセンター 定員：4名

萩市見島高齢者生活福祉センター

住所：〒758 - 0701 山口県萩市見島 35 番地 1

萩市見島高齢者生活福祉センターデイサービス 定員：15名 萩市見島高齢者生活福祉センター 定員：10名

萩市基幹型在宅介護支援センター

住所：〒758 - 0041 山口県萩市江向 510 番地

萩市基幹型在宅介護支援センター

萩・福祉複合施設かがやきへ介護予防センターを併設

萩・福祉複合施設かがやきに介護予防センターとしてパワーリハビリテーションセンターを増築し事業開始する。

3 理事会の開催状況

開催数	開催年月日	出席者数	議題等
	H17.1.17	7名	<p>1. 議決事項</p> <p>(1) 第1号 平成16年度新規事業の受託</p> <p>(2) 第2号 平成16年度社会福祉法人萩市社会福祉事業団収支補正予算</p> <p>(3) 第3号 平成17年度社会福祉法人萩市社会福祉事業団事業計画ならびに収支予算</p> <p>(4) 第4号 定款の変更</p> <p>(5) 第5号 社会福祉法人 萩市社会福祉事業団組織規程の一部変更</p> <p>(6) 第6号 社会福祉法人 萩市社会福祉事業団経理規程の一部変更</p> <p>(7) 第7号 社会福祉法人 萩市社会福祉事業団宿直及び日直規則の一部変更</p> <p>(8) 第8号 社会福祉法人 萩市社会福祉事業団定款施行細則制定</p> <p>(9) 第9号 社会福祉法人 萩市社会福祉事業団セラピスト資格取得貸付金規程及び社会福祉法人 萩市社会福祉事業団セラピスト養成奨学金規程の制定</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 旧田万川町小規模デイサービスの実施について</p> <p>(2) 山口県指導監査報告</p> <p>(3) 理事長専決事項報告</p> <p>(4) 理事の変更について</p>

4 評議員会の開催状況

開催数	開催年月日	出席者数	議題等
第1回	H16.6.17	18名	1. 議決事項 (1) 第1号 平成16年度社会福祉法人萩市社会福祉事業団事業計画及び収支予算
第2回	H17.2.4	18名	1. 議決事項 (1) 第1号 平成15年度社会福祉法人 萩市社会福祉事業団法人本部決算報告 (2) 第2号 平成16年度社会福祉法人萩市社会福祉事業団収支補正 (3) 第3号 平成17年度社会福祉法人萩市社会福祉事業団事業計画ならびに収支予算 (4) 第4号 定款の変更 (5) 第5号 新規役員の承認 2. 報告事項 (1) 旧田万川町小規模デイサービスの実施について

5 監査の開催状況

(1) 平成16年度上期定期監査

開催数	開催年月日	出席者	監査事項
第1回	H16.11.25	1. 監事 2. 立会人 事務局長 総務課長補佐 総務課主任	上期(平成16年4月~9月)会計監査 1. 監査事項 (1) 経営状況報告 (2) 会計諸帳簿報告 (3) 契約・入札・理事長専決事項等 2. 報告事項 (1) 社会福祉法人退職共済について

		会計担当 公認会計士	(2) 理事長専決事項について
--	--	-------------------	-----------------

(2) 入所者預かり金関係監査

特別養護老人ホーム、老人保健施設入所者預り金監査 毎月 1 回実施

1. 監査員

特別養護老人ホーム

現金・預金監査 会計担当

帳簿、証拠書類監査 事務局長

老人保健施設

現金・預金監査 会計担当

帳簿、証拠書類監査 事務局長

6 事業団会議・研修の開催状況

会議名	開催数	会議名	開催数
運営会議	12 回	デイサービス 部会	12 回
管理者会議	12 回	デイケア部会	12 回
衛生委員会	12 回	ケアマネ部会	12 回
総務部会	12 回	ヘルパー部会	12 回
特養部会	12 回	訪問看護部会	12 回
老健部会	12 回	楽々園会議	12 回

平成16年度 萩市社会福祉事業団OJT実績

番号	月 日	種 別	内 容	参加人数	講 師	対象者	備考
1	4月～6月	総論研修	「萩市社会福祉事業団の平成16年度事業方針」	150名	特別養護老人ホーム 施設長	全職員	各事業所ごとに実施
2	4月～6月	総論研修	「介護保険制度改正と今後の展開について」	150名	事務局長	全職員	各事業所ごとに実施
3	5月26日	介護技術 -	「食事について」	24名	管理栄養士	新人職員等	
4	6月16日	介護技術 -	「移乗・移動・姿勢について」	41名	リハビリ職	新人職員等	
5	7月21日	介護技術 -	「入浴について」	22名	老健介護職	新人職員等	
6	8月18日	介護技術 -	「医学の知識について」	27名	医師(総括管理者)	新人職員等	
7	9月15日	介護技術 -	「衣服着脱について」	24名	老健介護職	新人職員等	
8	10月27日	介護技術 -	「清拭について」	25名	デイサービス介護職 テイクア介護職	新人職員等	
9	11月17日	介護技術 -	「排泄について」	29名	特養介護職	新人職員等	
10	12月15日	介護技術 -	「口腔ケアについて」	24名	特養看護職	新人職員等	
11	1月19日	介護技術 -	「ベットメイキングについて」	34名	老健介護職	新人職員等	
12	2月16日	介護技術 -	「体位変換について」	24名	特養介護職	新人職員等	
13	7月～8月	介護技術研修	デイサービス交流研修	8名	デイ職員	見島デイ職員	見島デイ対象

14	4月19日	一般研修	「パワーリハビリテーションについて」	40名	主任リハビリ職	全職員	
15	4月6日・7日	新人研修	平成16年度新人職員導入研修	13名	各講師	新人職員	
16	11月29日	公開講座	「地域での生活を支える福祉サービスと権利擁護」	100名	山口県立大学 田中耕太郎先生	全職員	一般公開講座

7 各事業所の状況

萩市老人保健施設かがやき

萩市老人保健施設かがやきは、入所部門が在宅復帰機能の強化を図ったことなどから昨年と比較して年間利用率が83.2%と大きく落ち込みました。しかし、デイケアの通所部門が伸びを見せたこと（昨年比延利用者22%増）、社協からの事業収支資産（76,166千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額は、82,811千円、純資産額198,663千円（平成15年度210,902千円）となりました。また、資金収支状況は、新調理用のための厨房設備等の器具備品購入（19,653千円）、車両、その他資産等の取得（9,815千円）財政安定化資金積立預金（17,500千円）の支出がありました。社協からの資金収支資産（93,666千円）を受け入れたため、当期資金収支差額として、62,320千円、当期末支払資金残高は、62,320千円、となりました。

萩市特別養護老人ホームかがやき

萩市特別養護老人ホームかがやきは、ショートの利用率が若干減りましたが、社協からの事業収支資産（106,618千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額は、137,709千円、純資産額187,393千円（平成15年度115,831千円）となりました。また、資金収支状況は、財政安定化資金積立預金（12,500千円）、借入金償還の本部振替支出（54,000千円）等の支出がありましたが、社協からの資金収支資産（173,118千円）を受け入れたため、当期資金収支差額として、140,712千円、当期末支払資金残高は、140,712千円となりました。

萩市指月園

指月園は、新規に平成17年3月から運営したため、総収入8,005千円、経費を差し引き当期活動収支差額16千円。当期資金収支差額として、16千円、当期末支払資金残高は、16千円となりました。

萩市デイサービスセンターかがやき

萩市デイサービスかがやきは、昨年とあまり変わりませんでした。社協からの事業収支資産（37,083千円）を特別収入として受け入れたことが

ら、当期活動収支差額は、58,979千円、純資産額93,557千円（平成15年度83,355千円）となりました。また、資金収支状況は、リフト車両等の購入（3,260千円）、財政安定化資金積立預金（10,500千円）の支出がありましたが、社協からの資金収支資産（47,583千円）を受け入れたため、当期資金収支差額として、60,065千円、当期末支払資金残高は、60,065千円となりました。

萩市デイサービスセンター楽々園

萩市デイサービスセンター楽々園は、利用者の増加があったこと、社協からの事業収支資産（15,762千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額は、24,311千円、純資産額26,950千円（平成15年度18,475千円）となりました。また、資金収支状況は、社協からの資金収支資産（15,762千円）を受け入れたため当期資金収支差額として、23,561千円、当期末支払資金残高は、23,561千円、となりました。

萩市見島高齢者生活福祉センターデイサービス

萩市見島高齢者生活福祉センターデイサービスは、利用者の減少が続き、特別養護老人ホームかがやきから1,177千円繰り入れ、当期活動収支差額445千円、純資産額672千円（平成15年度1,118千円）となりました。また、資金収支状況は、当期資金収支差額として0千円、当期末支払資金残高は、0千円、となりました。

ヘルパーステーションかがやき

ヘルパーステーションかがやきは、順調的な利用者の増加があったこと、社協からの事業収支資産（32,845千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額は、54,455千円、¹³ 73,796千円（平成15年度62,463千円）となりました。また、資金収支状況は、財政安定化資金積立預金（9,500千円）へ支出がありましたが、社協からの資金収支資産（42,345千円）を受け入れたため、当期資金収支差額として、54,771千円、当期末支払資金残高は54,771千円となりました。

萩市訪問看護ステーションかがやき

萩市訪問看護ステーションかがやきは、昨年より利用者が減りましたが、社協からの事業収支資産（5,283千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額は、6,156千円、純資産額6,425千円（平成15年度5,552千円）となりました。また、資金収支状況は、社協からの資金収支資産（5,283千円）を受け入れたため、当期資金収支差額として、6,425千円、当期末支払資金残高は6,425千円となりました。

指定居宅介護支援事業所かがやき

指定居宅介護支援事業所かがやきは、指定居宅介護支援事業所楽々園を新規に立ち上げたため昨年と比較して収入の減少がありましたが、社協からの事業収支資産（5,920千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額は、3,578千円、純資産額8,364千円（平成15年度10,706千円）となりました。また、資金収支状況は、社協からの資金収支資産（5,920千円）を受け入れたため当期資金収支差額として5,036千円、当期末

支払資金残高は、5,036 千円、となりました。

指定居宅介護支援事業所楽々園

指定居宅介護支援事業所楽々園は、今年度指定居宅介護支援事業所かがやきを分割し、新規に事業所を立ち上げました。それまで、かがやき事業所にいた職員が、利用者共々移動したため、前年度のかがやき事業所の収入を分割するような形になりました。その結果、当期活動収支差額は、1,303 千円、純資産額 1,303 千円となりました。また、資金収支状況は、当期資金収支差額として 665 千円、当期末支払資金残高は、665 千円、となりました。

指定居宅介護支援事業所萩市在宅介護支援センターみしま

指定居宅介護支援事業所萩市在宅介護支援センターみしまは、昨年と比較して利用が減少しましたが、社協からの事業収支資産（869 千円）を特別収入として受け入れたことから、当期活動収支差額 1,412 千円、純資産額 1,412 千円（平成 15 年度 869 千円）となりました。また、資金収支状況は、社協からの資金収支資産（869 千円）を受け入れたため、当期資金収支差額として 1,412 千円、当期末支払資金残高は、1,412 千円、となりました。